

## 書き損じハガキ、切手(未使用)を待っています!

ご家庭や会社などで書き損じのハガキ、スタンプを押していない切手など眠っていませんか?

自立生活部門ではこれらを集めて活動資金にあてたいと思っています。ご協力をお願いします。

### ご協力ありがとうございます

<後援費を振り込んでいただいた方> (敬称を略させていただきます)

塚下智里

<カンパ・寄付をいただいた方> 西尾心治 小出裕子 河野恵子 岡本令子 樫本仁美(併せて頂いた阪神淡路大震災義援金は、障害者救援本部へお送りしました) 中村雅也 神田正治 藤田雄二

<書き損じハガキをお送りいただいた方>

深田みゆき 岸本啓子 武田伸二郎 麻窪宏哉 小松裕子 太田かよ子

<外へ飛び出すためのカンパをいただいた方>

伊藤康三



### パンジーのメンバーが講演に行きます!

障害者も健常者も共に暮らしやすい社会について、一緒に考えませんか。学校の教師や生徒、知的障害の人々、市民講座、ヘルパー対象など、どこへでもかけてゆきます! 詳しくはパンジーまでお電話ください。【11月・12月の実績】盾津東中学校/脇田小学校

### 1998年 ピープルファースト世界大会inアラスカ のためのカンパをお願いします。

世界中の知的障害者が集うピープルファースト世界大会に参加したい! そんな熱い想いととも、 「どらえもん会」が中心となって、旅費のために貯金をはじめました。

現在はカンパや講演の謝礼などを中心にして、少しずつ貯めています。しかし、まだまだ目標には達していません。そこで、ぜひ、カンパのご協力をおねがいします。



パンジーでは後援会員を募集しています。



賛助会員	1口	1ヵ月	500円
本会員	1口	1ヵ月	1,000円
特別会員	1口	1ヵ月	5,000円
郵便振替番号	00950-1-300551		

クリエイティブハウス「パンジー」

編集人 東大阪市東鴻池町2-4-8  
クリエイティブハウス TEL:0729-63-8818  
“パンジー” FAX:0729-63-8825

発行人 関西障害者定期刊行物協会  
大阪市城東区東中浜2-10-3  
緑橋グリーンハイフ・アド企画気付

KSKR  
NO. 26



# パンジー だより

発行 1998年1月  
編集 クリエイティブハウス

“パンジー”



## パンジーは新しい経験の連続!

昨年11月23, 24日、静岡で第4回知的障害者交流集會が行なわれ、全国から500人以上の人が参加しました。障害者自身の「自分の言いたい事を話そう」「皆でこの会を作ろう」という気持ちがひしひしと伝わってきて、皆の生き生きとした表情が印象的でした。パンジーのメンバーも分科会の進行役を務め、その堂々とした様子に心から拍手を送りました。発表することを通して、本人も気づかなかった力が大きく発揮される、すごいなと思います。

私は昨年4月からパンジーで働き始めました。この9か月は私にとって新しい経験の連続でした。パニックを起こした人を夢中で止めようとして、彼の腕の力に圧倒され、急に胸がドキドキして「自分は何をしてるんだ」とおろおろしたりもしました。でも、戸惑う事が沢山あればあるだけ、一生懸命メンバー一人ひとりのことを見ていた気がします。そして、どんな行動の前にも必ず理由がある事がわかって、少しずつその人の全体を落ち着いて受け止められる様になりました。

メンバーと一緒にいると、感じるというアンテナが今まで以上に働いて、非常にデリケートに私の心に何かを訴える様になりました。健常者の社会では、気にもとめず感じようとしなかった事がその中にあると思います。皆と一緒に色々な経験をするにつれ、私自身、無意識に持っていたこだわりが次第に影を潜め、気持ちが解放されていくのを感じる時があります。不思議な感覚です。

「違うことこそ ばんざい」—— これは牧口一二さんが言われた言葉です。パンジーに来る少し前、新聞でこの一節に触れて、私は心からハッとすることがあったのですが、パンジーで働きはじめて、あらためてこの言葉を実感するようになりました。人と人が認め合い、苦手な部分を補いながら生かされて生きる、この言葉の重みをこれからもずっと考えていこうと思います。

(はたなか)

## 来年へ向けて・・・

あけましておめでとうございます。パンジーのパン部門にもお正月がやってきました。昨年は皆様のあたたかいご指導、ご協力により無事にパンを焼き、一年を過ごせました。しかし、一年を振り返ってみると、反省すべきことが、それはもうたっぷりあり、皆様のご厚意に甘えて、ご迷惑をかけてしまったことだろうと思います。そういったことの上に立ってパンジーのパウンドケーキというのは完成したのだろうかあと感じています（ここしばらくパウンドケーキネタばかりでうんざりしてた人もいたかと思いますが）。

今年は、パン部門で行なった年末の反省会を活かして、より一層励んでいきたいと思っています。またいろいろご迷惑をおかけすると思いますがよろしくお願いします。（吉竹）

## クリエイティブ部門からHAPPY NEW YEAR!

皆様寒い日が続きますがいかがお過ごしでしょうか！ パンジーのメンバーは寒さもそっちのけで毎日いつもの笑顔で通ってきています。

さて、今、園芸の作業で作ったパンジーの苗を売っています。パンジーがパンジーを売っているってわかりやすいですよ。8月から9月にかけて種まきをし、芽を移植したり、水や肥料をやってようやく花が付きだしました。4月から始めた園芸で、皆最初は手つき、顔つきが緊張していたのですが、今は作業の時間になると自らががんばって「私、将来花屋になるって決めた！！」なんて声も聞こえます。寒い冬から暖かい春を運ぶ花、“パンジー”を皆の暖かい笑顔と共にお届けしたく思っています。詳しくはチラシを見て下さい。ご注文お待ちしております。

今年1年を去年よりもっと元気に過ごしたいですね！ 次回の“クリエイティブ部門から”もお楽しみに！！（たけと）



## 静岡で話そう会に参加して



「私たちは障害者である前に人間です」という理念のもと、11月23、24日に静岡県の焼津市青少年自然の家で全国知的障害者交流集会在開催されました。

一人暮らしを始めた仲間、仕事をしている仲間、

結婚をした仲間、いろんな悩みや希望を抱えた、全国の仲間が集まり、自分たちのことを、自分たちの言葉で話し合いました。

今回は準備、運営のほとんどを、当事者がつくる実行委員会が中心になり行いました。今回の大会のスローガンのひとつである、「助けてくれればなんでもできる」という言葉をまさにそのとうりに実行できたという点において、この大会の成功はものすごい説得力をもつものになったと感じています。またこの大会の成功は実際に自分たちの力を（これまでの生活の中で）信じきれず、または、信じさせてもらえなかった彼らにとっての支えと、（外に向けての）ちゃんとした裏付けのある自信となるでしょう。今後、彼らが地域に出ていく時にこの経験はきっと彼らにとっての素敵な武器となりえると思いました。

大会中、当事者の人たちの素直な感動、疑問、驚き、憤りに触れられて、僕自身としても参加してよかったと感じました。特に、ダンスパーティや、シングループの虐待事件について話しあった「たちあがろう！」でのパワフルさや、普段パンジーでは見られない真剣なまなざしや表情に感動しました。

支援者としては、まだまだ未熟ですが、もっとたくさんの経験を通じて成長していきたいと思っています。来年は奈良県で開催されることが決定し、そろそろこの大会のために、いろんな場所でいろんな人が動きはじめていることと思います。今まで以上にいろんな人を巻き込んで、懐の広い大会になってほしいと思います。次回も、彼等とのすてきな思い出を共有したいと思っています。（よしたけ）



## ガイドヘルパー物語

野村 省吾

以前から、ガイドヘルパーをやってみたいと思っていましたが、そんなとき、ヘルパー募集の張り紙を見て、電話すると、その晩に「人が足りないのので来て下さい」とのこと。全く何も知らない状態で私のヘルパー活動はスタートしました。

その日は、自閉症のYくん。体の大きなメンバーさんだったので、それだけでとても緊張しました。その日の行き先はプールで、不安だらけの中、一緒に泳いだり、遊んだりするうちに、メンバーの好みややりたいことが少しずつわかってきて、気持ちも楽になりました。帰りの道中でお菓子を買ってきて、自分が食べるよりも先に

「はい、先生（なぜ先生かはわからないが）」とお菓子をくれたりと、そのやさしさがとてもうれしく、心あたたまる思いで終えた初めてのわくわく活動でした。

ヘルパー活動を始めてもうすぐ半年。最初のうちは緊張の連続でした。もともと人付き合いは上手な方ではなく、反応を気にする方なので、「楽しんでもらわなきゃ」とか、お金の使い方をきちんとしなくては、という「しよう意識」が先行していました。それに、当然ながら毎日が初対面、これでいいのかと思いがながら時間が過ぎてゆく感じでした。しかし、回を重ねていくうちに思ったことは、メンバーさんは本当にあたたかい心で迎えてくれているということです。そして、やろうやろうとするのではなく、一緒に楽しもうと思ったとき、相手のことがよくわかるようになってきました。今は、パンジーでみんなとのコミュニケーションを楽しんでいます。

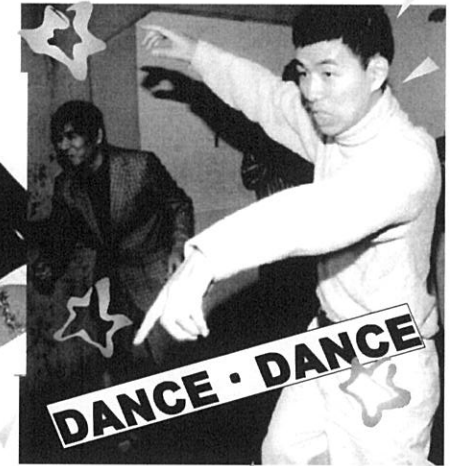
活動の中で一番うれしいことは、メンバーさんの喜ぶ顔を見ることです。楽しんでくれている様子を見ると、私もうれしく、楽しくなります。また、メンバーさんの温かい心にふれて、自分自身もやわらかくしてもらっている気がします。

これからも、いっしょに楽しく長らく活動を続けていきたいですし、もっともっと心を開いてつきあえたらと思います。そして、もっと多くの人気が軽にいっしょに楽しめたらと思います。



## わくわくのページ

12月6日、梅田の『クラブダウン』を貸しきりにして、パンジー恒例クリスマスパーティーをした。メンバー・職員・ヘルパー総勢約60名がプレゼントを持ってお昼前に集合。みんなおしゃべりをしたり、仮装グッズで変身したりして、パーティーの雰囲気がぐっと盛り上がる。



ピエロになった梅原君から開会のあいさつと、野花さんの「乾杯！」で始まった。バイキング料理を好きなだけ食べ、ビール・ワイン・カクテルも飲み放題。ほんのり酔ってくると、専属のDJが次々と流す音楽に、自然と体が動き出した。舞台の上に向かって踊り出す人たち。舞台には上がらないけど、フロアでリズムに合わせて体を動かす人たち。人がたくさんで、うるさいところに入れない人たちは隣のテーブル席で。ここクラブダウンは3回目なので、一人ひとりが自分流の楽しみ方・過ごし方をしているように思った。

たった2時間のパーティーだったが、メンバーそれぞれの笑顔が見られて、最後にプレゼントを受け取って、とても楽しい一日だった。でも、街中クリスマスムードになる24日か25日の夜にしてみたいなあとか、みんなと一緒に楽しめない人たちがもっと楽しめるには、どうしたらいいのかなあという思いもあり、来年につなげて行きたい。 (まめやん)



★1～2月のわくわく活動のお知らせ  
(1月は第2・第4土曜日に変更します)  
1月10日(土)  
1月24日(土) 外出活動  
2月7日(土) メンバーの行きたい所  
2月21日(土) に行きます)

### ★第5回ヘルパー研修会のお知らせ

「コミュニケーションの難しいメンバーとの関わり」について、ビデオを見たりしながら具体的な場面について学習・討論したいと思います。1月24日(土)ガイドヘルパー活動終了後、パンジーにて。当日ガイドヘルパー活動に参加されたヘルパーは、基本的にヘルパー研修会にも参加してください。どしどし来てね!

ショートステイだより

今日、パンジー泊まらない！  
お家帰る！  
お母さん、迎えに来る！

ほとんどの人が、自立にむけた体験宿泊（親の介護疲労へのレスパイトをかねて）として利用されていたショートステイも、この9月頃から

いろいろな意味、形で利用されるようになりました。

その一つとして、Aさんの場合、結婚されている妹さんの陣痛が始まり急ぎよショートステイを利用されることがありました。無事男児を出産されたそうです。A君もこれでおじさんやな。おめでとう！本人曰く「今日、パンジー泊まらない！お家帰る！お母さん迎えに来る！」(赤ちゃんの顔を見に早く帰りたいのかな?)

また、Bさんの場合、お姉さんの結婚式にあたり、ご両親は悩みをかかえながらの利用申込みでした。いろいろ相談をして、ショートステイ利用中に外出して結婚式に参列することにして、Bさんも大役を果たすことができました。後にお母さんからお便りを頂き、結婚されたお姉さんが一番喜んでおられたとの報を受けました。心より、よかった！よかった！とそれぞれの人生を感じさせられながら、早く当事者達の結婚そして出産の報が聞けたらという思いが私の頭をよぎりました。(みつよし)

最近のグループホームについて



肌勢 俊一

グループホームにずっと住んで3年以上になります。最近思ったことは、森さんがよく頑張っていることです。僕は、森さんのことを思っかんしんしました。森さんが(平日と)土曜日から日曜日にかけているけれど、日曜日になるともう帰らなければならない。あくる日、日曜日帰りのしたくをする。僕は1人でテレビをつけながら、こっそりと見ている。

あと横になりながら、ごはんたきをおぼえていこうと思っっているんだけど、どうやってごはんをたいたらいいのか、おぼえるので1日すぎでしまう。

グループホームに住んで4年にもなるが、またあゆむの方へ森さんといっしょに遊びに行くことになるが、それが楽しいことだ。あゆむには介護で横山さんという人が来ていて、横山さんとあゆむで1日をしゃべりながらくつろいでいる。

平石さん就職 おめでとう！ コーナー

「知らんでえ」でおなじみの平石満彦さんが、11月より、ファミリーレストラン「フレンドリー」に就職が決まりました。そこで平石さんに喜びの声を一言。



給料がちゃんと働いたらくれるからパンジーの給料の7000円とちがうのがいいです。  
萱原さんと小野くんという友だちができました。

パンジーに行っても、もう平石さんに会えない・・・と心配しているあなた、どうぞご心配なく。日曜日と月曜日が、休みの平石さんは、月曜日には、なぜかパンジーに現れ、相変わらずのギャグをとばしてくれています。本当に平石さん、おめでとうございます。体をこわさないようがんばって下さい。(たき)

野花由美子のキューピー三姉妹物語

話を始める前に・・・  
長女 梨紗 5才 (H4.12.4生 いて座) A型  
次女 麻衣 3才 (H6.8.29生 乙女座) AB型  
三女 唯 2才 (H7.11.27生 いて座) B型  
父親 竹内一真 母親 由美子



①ちっさなキューピーかぜ編

小さなキューピー(唯)「エーンエーン」(泣いている)  
大きなキューピー(梨紗)「どうしたの？そんなに泣いていたらわからないじゃない？」

小さなキューピー「エーンエーン」

大きなキューピー(小さなキューピーの額に手をあてる)「まあ高い熱！」

小さなキューピーは、かぜをひいた様子である。

②中くらいのキューピーかぜ編

中くらいのキューピー(麻衣)「エーンエーン」(泣いている)

大きなキューピー「どうしたの？そんなに泣いていたらわからないじゃない？」

中くらいのキューピー「エーンエーン」

大きなキューピー(中くらいのキューピーの額に手をあてる)「まあ高い熱！」

これは、小さなキューピーのかぜがうつたのではないのか？

果たして大きなキューピーは大丈夫なのか？

注 この、キューピー物語は本当にむちゃむちゃおもしろいが、このとき作者である、野花さんは、あまりのっていないようだった。今後に期待されたい！(ゆきめ)

どらえもん会のページ

第4回知的障害者全国交流集会IN静岡

# みんなで静岡ではなしあう会

「アメリカのピープルファーストみたいな大会をしたい！」

ことしの知的障害者交流集会「静岡ではなしあう会」は、500人をこえる人があつまりました。滋賀県でおこった障害者の虐待事件や、結婚しているなかまのはなしを中心に話しあったり、夜は生バンドえんそこのダンスパーティで、おどりました。

みんなのパワーで、この大会は本当にアメリカに負けないくらいの「ピープルファースト大会」になりました。



## 全体会 I 「たちあがろう！」

— サングループ事件からかんがえる  
(中略)・・・それでぼくはこの司会をたんと

うすることになったものだ。

会場にはいると岩手県、九州・ふくおか、佐賀の方からもきていた。

・・・自分ではじめて司会をしてちょっときんちょうしたが、いろいろ意見をいう人がいてたいへんだった。ぼくは、マイクをもって相手の人にわたさなくちやいけないから ゆっくりするひまがなかった。やっているうちに ずいぶんと司会がなれてきたと思う。(肌勢俊一)



肌勢さんと 司会したな。  
スーツきてよかったわ。  
きんちょうせえへんかった。  
みんな、きいてくれたん  
ちゃうか！ (富田妙子)

## ぶんかかい 分科会

「ガイドヘルパー」  
ガイドヘルパーもっとふやせー！  
といった。どうやったら、思っているとこいけるか、どうすればええんか、はなしあった。  
(岡本智)



「お金の使いかた・もうけかた」  
スナックや車いすの介護をしているところのビデオをみてもらった。それから文章をよんでかんそうをだしてもらった。もっとはなしをきいてほしいと思う。(生田進)

「ピアカン」  
よかったみたい。うれしかったことと かなしかったことをおはなした。なんかなあ、よかったな。(梅原義教)



みんなもりがってパーティでおどってきぶんがよくなってきた。みんな、元気になったみたい。(五十嵐千佳)

## ピープルファースト宣言 大会スローガン

- ・施設はあかん！地域でくらすう！
- ・いろいろなことにチャレンジしよう！
- ・なかまをふやそう！
- ・私 たちのことをもときけ！
- ・こどもあつかいするな！
- ・さべつするな！
- ・助けてくれれば なんでもできる！

石田くん(実行委員長)が泣いてるのをみて“ここまでよくがんばった”と 言ってあげたかったけどいいそびれた。  
(麻窪みどり)





新年だからというわけでもないが、今回はちょっといい話を紹介しよう。

昨年末のパンジーは、実習生たちが出入りして、すこし落ち着かなかった。実習生にとっても緊張の一日で、特に食事やトイレ介助には苦勞しているようだが、メンバーたちもそれぞれに気を遣っている。しかし実習生たちの多くは今かかわっている相手の心の動きに気づいていないようだ。それは

まあ仕方ないとしても、彼ら自身もめった

に相手に話しかけないのには驚いた。理由は、ことばが返ってこないとどうしてよいか分からないからというのだ。将来赤ちゃんの世話をするとき、彼らは無言で手だけ動かすのだろうか？ 夕方の反省会でも、具体的な介助についての質問は多いが、メンバーとのコミュニケーションに関しての意見はほとんど出なかった。パソコン時代のマニュアル世代の一般的傾向なのだろうか、それとも経験の差なのだろうか。

物理的な援助はできても、相手とのことばやしぐさや表情などによる交流が伴わないのでは、お互い居心地が悪いと思うのだが。このような関係はヘルパーさんのかかわりでも見られることがある。健康まつりでの出店でのこと。

車椅子に座っているFくんに食事の介助をしているヘルパーさんは、リュックを背負ったままで中腰になりながら、ただ黙々とお弁当をFさんの口に運んでいる。上からの介助はFさんの表情も見えにくいし、何より相手が立ったままでは食事もおちつかないではないだろうか。

実習生であれ、ヘルパーであれ、もちろんメンバーや我々スタッフも、相手の立場や気持ちをおもんばかるのが生まれつき上手な人と下手な人があるはずである。下手な者は自分の足りなさを自覚するとともに、意識して心のアン

テナを磨き上げていく努力をしていきたいものである。そこでちょっといい話を。  
**<その1>** ハンガーの組立て中、実習生の一人がコックリ、コックリ居眠りをはじめた。横で見ていたメンバーのGさんは「(身体は)大丈夫？ 疲れてるんやね。きのう、あんまり眠ってないのんちがう？」と声をかけて優しく実習生をねぎらっていた。

**<その2>** メロンパンづくりの中で、メロンの皮をローラーにのせるのが大好きな仲間を抑えてHさんは言った。「この人(実習生)は今日で(実習が)終わりやから、この仕事させてあげなあかん。あんたはまたできるから他のことしいや」。心の大きいメンバーたちに出逢えた幸せを改めて感じている年の初めである。

### 相手のことを思いやる心

中新井 滯子



寒さが本格的になっ邪などひいていませんも負けずがんばりながたくさん来てくれるのです。

メンバーといろいろ考

て来ました。みなさん風か？ ショップは寒さから、どうしたらお客さんがか、頭を悩ましている毎日

えているのですがなかなか

難しい問題やな・・・で止まってしまっているのが現状です。

しかし、一方で常連のお客さんが増えてきているのも確かです。「いつもこのコーヒーはおいしいね」「この服こんなに安いのか？」とうれしい言葉をかけてくださいます。「おいしいコーヒー、安くて買いやすいリサイクル商品があるショップだよ！」と宣伝してもらおうと、とても心強いなと思っています。

のんびりとコーヒーを飲んでくれるようなほんわかな雰囲気大切に、そしてふらっと寄ってみようかなと思えるようなショップをめざしていこうと思います。少しゆっくりしたいな一と思っている方。ぜひショップへお越しください。メンバー一同お待ちしております。(はまだ)



あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくおねがいます。パンジーは開所して5回目のお正月を迎えました。年毎に内容が多様化してゆくパンジーに対応するため、厨房は素人の手作りメニューから、専門家(栄養士)メニューへの移行を前提に昨年11月より試行を始めています。メニューとレシピと食材が毎日業者によって届けられます。一年中、いつでも使える冷凍野菜、厚い衣を着たフライ物、濃縮されたスープ・・・。一か月あまり試食しているメンバーや職員みんなの声を聞き、完全移行するかどうかの結論はもう少し先になると思います。

均一的な昼ご飯にならないように、“愛”というスパイスで家庭の味を作り続けたいもの、と考えています。「まずいものを食べ続けていると、おいしいものを食べても、おいしいと感じなくなる」と、某料理研究家がテレビで話しているのを聞きながら……。(河野)